



平成19年1月期 第1四半期財務・業績の概況(連結)

平成18年5月31日

上場会社名 株式会社SUMCO (コード番号: 3436 上場取引所 東)

(URL <http://www.sumcosi.com/>)

代表者 役職名・氏名 取締役社長 重松 健二郎

問合せ先責任者 役職名・氏名 広報・IR室長 石戸谷 宗一 TEL (03) 5444-3915
(広報・IR室)

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

①会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有

(内容)

- ・税金費用については、年間予測税率を用いて計算しております。
- ・減価償却費については、年間償却予定額の月割額で計上しております。

②最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有

(内容)

- ・売上高から控除していた販売口銭を、当連結会計年度から販売費及び一般管理費に計上しております。

③連結及び持分法の適用範囲の異動の状況 : 無

2. 平成19年1月期第1四半期財務・業績の概況(平成18年2月1日～平成18年4月30日)

(1) 経営成績(連結)の進捗状況

(百万円未満切捨)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年1月期第1四半期	62,150	—	15,500	—	13,874	—	8,261	—
18年1月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—
(参考)18年1月期	220,526	14.2	44,340	40.9	36,554	43.3	20,486	88.5

	1株当たり四半期(当期)純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益
	円 銭	円 銭
19年1月期第1四半期	69.02	—
18年1月期第1四半期	—	—
(参考)18年1月期	195.61	—

(注)前年同四半期については、平成18年1月期第3四半期から開示を行っているため、記載していません。

[経営成績(連結)の進捗状況に関する定性的情報等]

当第1四半期においては、原油高の長期化や各種資材価格の上昇等の懸念材料はあったものの、米国、東南アジア及び中国経済の景気拡大が持続したことに加え、国内におきましても、企業収益の向上、個人消費や民間設備投資の増加、雇用情勢の改善等、回復基調がより鮮明になるなど、景気動向全般は、堅調に推移しております。

その中で半導体市場は、パソコン、携帯電話、液晶テレビ或いは携帯音楽プレーヤー等のデジタル家電の堅調な需要に支えられ順調に推移致しました。その結果、シリコンウェーハ業界におきましては、半導体メーカーによる新規生産ラインの相次ぐ増設の影響も加わり、300mm ウェーハを主体として引き続き高水準の需要が継続しております。

このような環境の下で、当社グループは、世界トップクラスのシリコンウェーハメーカーとしての地位を不動のものとすべく、300 mmウェーハの量産体制の構築を目的として積極的な設備投資を実施しており、当第1四半期末には月産約40万枚強の生産能力体制を整えました。尚、当社グループでは、今後も引き続き300mmウェーハの生産能力拡大のスピードを加速していく予定であります。

以上の結果、当期の売上高は62,150百万円、経常利益は13,874百万円、四半期純利益は8,261百万円となり、当初の見通しよりも増益基調で推移しております。

(2) 財政状態(連結)の変動状況

(百万円未満切捨)

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
19年1月期第1四半期	363,438	167,535	46.1	1,399.63
18年1月期第1四半期	—	—	—	—
(参考)18年1月期	351,934	161,680	45.9	1,350.41

(注)前年同四半期については、平成18年1月期第3四半期から開示を行っているため、記載していません。

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

(百万円未満切捨)

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
19年1月期第1四半期	11,071	△12,707	△2,927	25,605
18年1月期第1四半期	—	—	—	—
(参考)18年1月期	62,895	△52,699	5,835	30,152

(注)前年同四半期については、平成18年1月期第3四半期から開示を行っているため、記載していません。

[財政状態(連結)の変動状況に関する定性的情報等]

① 財政状態の変動状況

当第1四半期末の総資産は、有形固定資産が10,676百万円増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ11,504百万円増加し、363,438百万円となりました。

負債合計は、設備関係未払金が6,911百万円増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ5,601百万円増加し、195,685百万円となりました。

また、資本合計は、前連結会計年度末から5,854百万円増加し、167,535百万円となり、株主資本比率は前連結会計年度末の45.9%から0.2%改善し46.1%になりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ4,547百万円減少し、25,605百万円になりました。営業活動によるキャッシュ・フローは業績が好調に推移したこと等により11,071百万円でありましたが、300mmウェーハの生産能力拡大に伴う設備支出等により投資活動によるキャッシュ・フローが△12,707百万円であったこと及び配当金の支払等により財務活動によるキャッシュ・フローが△2,927百万円になったことによるものであります。

3. 平成19年1月期の連結業績予想(平成18年2月1日～平成19年1月31日)

業績予想の見直しは行っていません。

1. 第1四半期連結財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当四半期 (平成18年4月30日)	前連結会計年度 (平成18年1月31日)
(資産の部)		
I 流動資産	(128,434)	(126,771)
現金及び預金	26,605	31,152
受取手形及び売掛金	53,650	51,283
たな卸資産	42,765	40,015
その他の流動資産	5,413	4,320
II 固定資産	(235,004)	(225,162)
有形固定資産	204,824	194,147
無形固定資産	19,913	20,492
投資その他の資産	10,266	10,521
資産合計	363,438	351,934
(負債の部)		
I 流動負債	(125,887)	(113,725)
支払手形及び買掛金	17,847	16,609
短期借入金	67,505	60,569
一年以内支払予定ファイナ ンス・リース未払金	2,612	3,691
設備関係未払金	20,407	13,496
その他の流動負債	17,514	19,359
II 固定負債	(69,797)	(76,358)
長期借入金	48,754	54,462
ファイナンス・リース未払金	7,727	8,536
その他の固定負債	13,314	13,359
負債合計	195,685	190,083
(少数株主持分)		
少数株主持分	218	170
(資本の部)		
資本金	82,173	82,173
資本剰余金	46,376	46,376
利益剰余金	38,317	32,486
土地再評価差額金	2,252	2,252
その他有価証券評価差額金	46	46
為替換算調整勘定	△1,632	△1,656
自己株式	△0	△0
資本合計	167,535	161,680
負債、少数株主持分及び資本合計	363,438	351,934

(2) (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

	当四半期 (自 平成18年2月 1日 至 平成18年4月30日)	前連結会計年度 (自 平成17年2月 1日 至 平成18年1月31日)
I 売上高	62,150	220,526
II 売上原価	40,924	156,414
売上総利益	21,226	64,112
III 販売費及び一般管理費	5,725	19,771
営業利益	15,500	44,340
IV 営業外収益	(182)	(472)
受取利息及び受取配当金	68	86
その他の	114	385
V 営業外費用	(1,808)	(8,258)
支払利息	753	3,484
為替差損	722	1,905
その他の	332	2,867
経常利益	13,874	36,554
VI 特別利益	—	—
VII 特別損失	—	1,514
税金等調整前四半期(当期)純利益	13,874	35,039
税金費用	5,565	14,448
少数株主利益	48	103
四半期(当期)純利益	8,261	20,486

(最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更)

従来売上高より販売口銭を控除しておりましたが、当連結会計年度から販売費及び一般管理費に計上しております。

この結果、従来の方法によった場合と比べて売上高、売上総利益、販売費及び一般管理費が 660 百万円それぞれ増加しております。なお、営業利益には影響はありません。

(3) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	当四半期 (自 平成18年2月 1日 至 平成18年4月30日)	前連結会計年度 (自 平成17年2月 1日 至 平成18年1月31日)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当四半期(当期)純利益	13,874	35,039
減価償却費	9,014	35,251
連結調整勘定償却額	234	938
売上債権の増減額(増加は△)	△2,363	△7,575
たな卸資産の増減額(増加は△)	△2,782	△1,305
仕入債務の増減額(減少は△)	1,222	△1,530
その他の	1,904	6,845
小計	21,104	67,663
利息及び配当金の受取額	69	85
利息の支払額	△532	△3,556
法人税等の支払額	△9,569	△1,296
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,071	62,895
II 投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形・無形固定資産の取得による支出	△12,800	△53,615
その他の	93	915
投資活動によるキャッシュ・フロー	△12,707	△52,699
III 財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(減少は△)	△20	△18,739
長期借入れによる収入	4,698	1,000
長期借入金の返済による支出	△3,413	△33,097
ファイナンス・リース未払金の返済による支出	△1,798	△3,519
増資による収入	—	60,192
配当金の支払額	△2,393	—
自己株式の取得による支出	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,927	5,835
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	16	120
V 現金及び現金同等物の増加額又は減少額(△)	△4,547	16,150
VI 現金及び現金同等物の期首残高	30,152	14,001
VII 現金及び現金同等物の期末残高	25,605	30,152